

新 潟 中 學 校 校 歌

相馬御風作歌
大和田愛羅作曲

壯快 = (ハ調 $\frac{2}{4}$)

新 潟 中 學 校 校 歌

(一)
玲龍の天あふぐ時
廓寥の地をのぞむ時
讚へざらめや青春の
胸颯爽の意氣に充ち
雄圖にあつき血ぞ躍る
光不滅のわが生命

(二)
見さくる越の野はひろく
千古の盡きぬ長江の
北斗燦たる空の下
吹く風清き青山や
ゆたけき流のぞみつゝ
青陵健兒われ立てり

(三)
怒濤さかまく日本海
いかでかそこに隠れたる
げに剛健と質實ぞ
天そより立つ彌彦山
自然の黙示なからめや
青陵健兒の生命なる

(四)
時流はいかに濁るとも
文にはた武に幾十年
光輝をかへぬ歴史もて
わが校風ぞ彌清く
裏日本の覇者として
青陵健兒こゝにあり

(五)
いざわが友よもろともに
常磐の松の下かげの
青陵健兒のかんばしき
白砂塵なき丘の上
誓盟を永久にかためつゝ
榮譽をあげむ彌高く

* 歌詞は昭和十五年四月十八日、文部省によって、改訂される以前の本歌である。

* 楽譜は昭和十一年に刊行された「遊方會雜誌」第四拾八號所収のものを複写した。